

# みなしご通信



## 猫トラブル 原因は対人関係

新潟県上越市で何十年間も農業用ハウス出入り自由の外飼いで猫を20匹前後飼っていた人がいました。近隣住民との糞尿トラブルが起き苦情を言われた上越市の保護センター職員はそのたびに飼い主宅を訪問していました。去年の夏のこ

と近隣住民からの苦情により職員が出向き飼養頭数を減らすよう《提案》し、高齢になった飼い主は自分が飼養してきた猫の中から9匹を引き渡しなんの罪もないのに殺処分されました。飼い主はわりと裕福で生活に困窮してもいないのに不妊手術も施さず。

それから月日が流れまた苦情。そして今度は《なぜか》上越市の保護センターの職員は猫がいる農業用ハウスを封鎖して餌を与えるな！と指示。それにより猫は住み処を追われ路頭に迷い散らばり、さらに広範囲でトラブルが勃発！動物愛護の観点からも苦情に対する処理の観点からもなんら《解決にもならない上に》猫たちは生き地獄。どこに上越市の愛護行政が機能していますか？私はこの9匹の猫の死を【無駄にはしたくないのです】センターは一丸となって深く深く反省すべきでしょう！なのに上

### 重要なお知らせ

「みなしご救援隊犬猫譲渡センター」（広島市安佐北区・JR可部駅徒歩1分）と東京支部の保護犬・保護猫カフェ（東京都世田谷区）は全くの別団体であり我々と何らの関係もございません。



## 今後もいい夫婦で

11月22日は翌日のTNRを前に岡山の吉備S Aで車中泊。みなしごバスの中には手のかかる重症の子もおらず気が抜けたような長い夜。やっぱり私は、やるかやられるかほどのギリギリの問題が降りかからないと生けるシカバネじゃ。そんなことをボーツと考えていたら「今日は《いい夫婦の日》じゃから仲良く自撮りでもするか」とオジサン。『それも《あり》じゃの』とすぐに乗るオバサン。何枚撮っても私が痩せん限りは《ええ写真》にはならんね（笑）とりあえずこれからも2人お互いできることをカバーしあって、同じ方向を見ながら進んで行きたいね。

越市の保護センターの課長はまったく反省もせず驚くほど強気一辺倒で大声で私に言います。「私どもは法令に沿って職務を遂行しております」田舎にありがちな旧態依然とした行政これが原因！声を荒げ「業務に差し支えます」と話の途中で電話を切る。あつという間にこの話が広がり上越市の保護センターにガンガン電話がくることも予測できず「お答えできません」のひとつで済ませようとして、猫の命を奪ってにおいて。そして、皆さまからの厳しくも《当たり前な》ご指摘を受け上越市保護センター

の村中センター長が猫の苦情を言っていた住民の家を回ると「猫が嫌いなわけじゃないんだよ」の声。これはどこの市町も同じ。野良猫問題は【猫が原因ではなく】【対人関係のもつれ】が弱い立場の野良猫に向かつて起きるのです。センター長がそのもつれを根気強くほどこいたみたい。今回の場合その無責任な餌やりは社会的地位があり裕福だということ珍しいケース。そこはしっかり責任を取ってもらい不妊手術費用は餌やりが負担。封鎖した農業用ハウスは上越市の保護センターの指導のもと《開放》寒空の下行

き場を失った成猫たちはTNRされ今度は【地域猫】として再び農業用ハウスで暮らせることになりました。今回のことで上越市も努力すればできることが立証されたのでこれからは広島県や広島市のように収容した猫を100%譲渡していくのを目標にするのではなく収容しないで済む町づくりを目指すべきです。そのためにはまずはTNR活動。一代限りの命をまっとうさせ、そこから派生していく地域猫…と夢は広がりますね！がんばれ上越市！関わった以上、私もできる協力はするつもりです。

# 大阪の子に授業



大阪府の池田市立石橋南小学校に行ってきました。子供たちは世の中のことをよく知っていました。「いのちの学習」を受ける子は4・5年生ですからね。TNRのこととか説明しにくいし野良猫に餌を与えるなら不妊手術をしましょうとか子供には言えないしと思いきや『UPAちゃんは子供ができないようにして』と言ったら即座に「去勢で



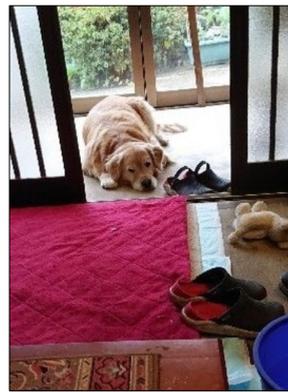
すね」と5年生が答え、驚きました！が、私が猫の不妊手術を知ったのが小学2年生のとき。そっか、家で犬や猫を飼っていたら知っていてもおかしくないのか：などと考えながら大人びた意見や子供らしい意見に感心。いっぱい質問をもらってオバチャンは楽しく過ごしました。

帰り際、子供たちに囲まれて握手攻めするとき「中谷さんな！大阪のおばちゃんよりおもしろいやん！」と言われたので『そう思うてくれるか！ほな今度アメちゃん持ってくるわ』「ホンマ？ホンマ？待つとくで〜」とりあえず石南小の子供たちは山田監督と私を見て「あんな人でも大人になれるんだ」と自信を持ってく

【室内ヤギこゆき】よく晴れた日でもやる気が出ず《ひきこもる山羊》「アタチ室内山羊ですけど何か？」子ヤギのときから室内で子猫たちと一緒に育ったこゆきはとにかく外に出たがり

# お試しケイジ

今年の春、埼玉県の西入間警察の刑事から依頼され急ぎよ引き取った犬4匹のうち1匹ゴールデンレトリバーのケイジに良縁が舞い込み、今1カ月のトライアル中です。『一度不幸になった子を二度不幸にするわけにはいかない』のでうちは譲渡には【かなり慎重】です。トライアル期間中の生活ぶりを「自分の目」



めです。みなしごバスのドアを開けたままにしているとすぐに戻って来ます。もちろんトイレは完璧で「そのとき」は外に出て「済ませたいから戻って来ます。」

で確かめねば！と行って参りました。私たちがおじやましている間もケイジは茶の間にいるより玄関にいることが多くやはり長毛種のゴールデンレトリバーは暑がりなんだなと思えました。※室内は暖房中  
うちでは泥んこで暮らしていましたがきれいにトリミングされ環境の変化による軟便を気にして動物病院にも連れて行ってもらった。だいたいにしてもらっていただきました。そして何より安心だったのは、先住犬のハッピーちゃんとベッタリなこと。このまま大きな問題が起きなければケイジは新潟犬になります。

# 年末年始の予定

- 12月26日 栃木拠点 地鎮祭
- 27日 二ホンザル飼育講習会
- 1月11日 栃木拠点TBS取材
- 27日 岡山TNR
- 30日 鴻巣TNR

本紙は中谷百里代表ブログ「みなしご庵へようこそ」の記事を抜粋したものです。

NPO法人(特定非営利活動法人) **犬猫みなしご救援隊**  
www.minashigo.jp

犬猫みなしご救援隊  
〒731-0234  
広島県広島市安佐北区可部町大字今井田690-2  
TEL : 082-812-3745 FAX : 082-815-2711

みなしご通信のバックナンバーは、公式ページ  
(http://www.minashigo.jp/newpaper/index.html)に掲載しております。

スマホをかざすだけで募金ができる  
**かざして募金**  
JAPANGIVING

ソフトバンクの「かざして募金」、ジャパングIVINGで寄付ができます。  
(https://japangiving.jp/supports/1281) 皆さまからのご支援、よろしくお願いたします。